

2012年 歴史教育者協議会 第64回全国大会・千葉



青木繁《海の幸》石橋財団 石橋美術館蔵

テーマ

地域と子どもに根ざす—大震災・原発・地域再生を見すえて

全体会 8月3日(金)

午後6時～ 習志野文化ホール (地図参照)
(開場 午後5時)

記念講演

フクシマから考える —歴史、現在、未来について

高橋 哲哉 (東京大学教授 哲学)



メッセージ

フクシマで起きたことから、私たちは、自分たちの歴史認識がいかに甘かったかを思い知らされたのではないのでしょうか。

フクシマで起きたことから、現在、どのような歴史認識が求められ、どのような未来の構想が求められているのかを、いっしょに考えていただければ幸いです。

戦後責任や靖国問題などで活発な言論を展開。県立福島高校の出身。近著に、『犠牲のシステム福島・沖縄』(集英社新書)、『いのちと責任』(高史明氏との対話、大月書店)

● オープニングー歓迎演奏 ●

市立習志野高校吹奏楽部

● 挨拶 ●

山田 朗 (歴史教育者協議会委員長)

● 基調提案 ●

歴史教育者協議会常任委員会

● 連帯のメッセージ ●

韓国・中国から(予定)

大会参加費 会員・教員 5500円(当日6000円) 学生・市民 1500円(当日2000円)

主催 歴史教育者協議会 第64回千葉大会実行委員会

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-13-8 千成ビル 一般社団法人 歴史教育者協議会内
TEL 03-3947-5701 E-mail=rekkyo@jca.apc.org <http://www.jca.apc.org/rekkyo/>

後援 習志野市教育委員会 千葉県観光物産協会 朝日新聞千葉総局

分科会 8月4日(土)・5日(日)

4日9時～16時

5日9時～14時半

千葉大学

分科会では、全国からのレポートをもとに、社会科・歴史教育をめぐる課題を子どもたちの今によりそいながら話し合います。今年は、すべての分科会で、大震災・原発・地域再生に関わって、実践や話題を提供しあい、話し合いを深めましょう。(各分科会は別記頁参照)

地域実践 報告

子どもの生活に根ざした授業で社会科の学力を育む

—映画『蟹工船』を使った高校日本史の授業—

浅尾 弘子 (千葉県歴教協)

8月5日閉会集会(午後3時～4時半 千葉大学)で実施

〈会場アクセス〉

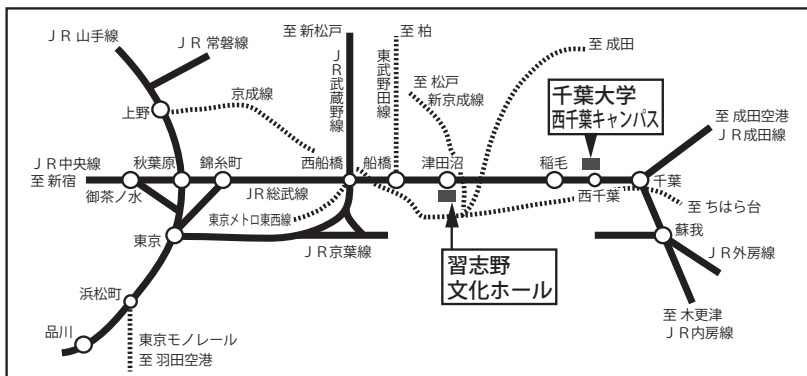
全体会 習志野文化ホール

JR 総武線 津田沼駅南口から徒歩 4 分 (東京駅から快速で 28 分)

分科会 千葉大学西千葉キャンパス

JR 総武線 (各停) 西千葉駅北口から徒歩 8 分

(東京駅から快速で「稲毛」乗り換え 38 分。快速は西千葉駅には停車しません。)



大会 日程

8月3日10～12時半

一般社団法人歴史教育者協議会社員総会(全国委員会・会員集会)

会場 モリシア多目的ホール (習志野文化ホール隣)

日 程	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
8月3日(金)			社員総会 (会員集会)			現地見学 A～E				全体会		※	
8月4日(土)			分 科 会						地域に学ぶ 集い			各県 交流会	
8月5日(日)			分 科 会				閉会集会	学生 交流会		現地見学 I・J・K・L			
8月6日(月)			現 地 見 学 (一部7日まで) F～L										

※分科会打ち合わせ

申込み

宿泊・昼食・保育他

申込み受付開始

5月1日 事前申込みは**7月20日**まで（当日受付あり）

※現地見学の申し込みは**7月7日必着**です。

申込み先

（取り扱い旅行者）

（労協）国際ツーリストビューロー東京営業所 担当：山口初美

〒170-0005 東京都豊島区南大塚 1-60-20 天翔大塚駅前ビル 504

TEL 03-3946-9885 FAX 03-3946-9886 メール ktb@silver.ocn.ne.jp

申込み受け付け後から参加費宿泊費等の支払い方法

- ・参加申込み後、国際ツーリストから参加確認書と請求書（参加費・現地見学・保育）をメール、またはファックス、封書で送付します。入金の確認を経てから現地見学などの案内を送ります。

大会参加費

事前申込みと当日受付では金額が異なります。

会員・教員 5500 円（当日 6000 円）／学生・市民 1500 円（当日 2000 円）

分科会 1 日参加（当日受付のみ）3000 円、高校生以下無料

※教員退職者は事情の許す限り、会員・教員参加費での申込みにご協力ください。

交通・宿泊・昼食等のご案内

- ・旅行者による宿泊の手配を希望される参加者は、申込み用紙に下記ホテルの番号を記入して下さい。部屋はすべてシングルです。ツイン希望の場合は備考欄にご記入ください。
 - ①バーディーホテル千葉（JR 千葉駅西口徒歩 1 分） 7,000 円（1 泊朝食税サ込）
 - ②千葉ワシントンホテル（JR 千葉駅東口徒歩 3 分） 8,000 円（1 泊朝食税サ込）
- ・航空機など交通手段の予約は、参加者各自で手配してください。
- ・会場には駐車場を用意しておりません。
- ・千葉大学では昼食に生協食堂を利用できます。会場での弁当販売はありません。

幼児・学童保育

予約制（7月17日締め切り）

- ・3 歳から、小学 6 年生までを対象に、8 月 3～5 日（3 日は全体会時のみ）に実施します。
- ・予約制で、定員は 15 名です。当日受付はできませんので、必ず事前に申し込んで下さい。
- ・申込書に必要事項を明記してください。受け付け後に予約金（1 人につき 4000 円）の請求をいたします。入金後に実施要項を送ります。

参加の取り消し

- ・参加の取り消し、申込みの変更は、直接国際ツーリストビューローに連絡してください。
- ・入金後の取り消しは、7 月 17 日までは、振込手数料を差し引いた全額をお返しいたします。
- ・7 月 18 日以降は参加費については返金はできません。ただし、連絡をいただいた方には「大会要項」をお送りいたします。
- ・その他の費用については、振込手数料、キャンセル料（必要に応じて）を差し引いた額を返金いたします。

■ 分科会の内容 ■ (レポート一覧は『歴史地理教育』6月号に掲載)

第Ⅰテーマ 歴史と現代 (1)地域、日本、世界を統一してとらえる歴史認識をどう育てるか。 (2)歴史の全体像と各時代の特徴を明らかにする。 (3)地域、民族の文化についての正しい認識と創造力をどう育てるか。 (4)平和教育の内容、方法と今日の課題を実践的に追究する。	6. 思想・文化・文化活動 ①思想文化にかかわる地域の掘りおこしをどう進めるか。 ②地域や学校での文化活動を通して、子どもの社会認識をどう高めるか。 ③文化・文化史の授業をどう作るか。
1. 地域の掘りおこし ①地域の掘りおこしの視点と方法について、②掘りおこした事実の記録・保存・活用、教材化の方法について、③戦後史の掘りおこしの課題と方法について、各地の取り組みを交流し、学び合います。	7. 現代の課題と教育 現代日本の課題を各地から報告、交流し学び合います。震災・原発事故、千葉での活動、アイヌ民族理解、教科書採択の問題、地域主体形成をはかる活動等から皆で語り合い、実践的方向を探りましょう。
2. 日本前近代 長期・多岐にわたる前近代史像全体を見通すプランや、授業を支える理論と方法を、小・中・高の実践を通して学びます。さらに地域史学習の在り方についても、報告と参加者の発信を通して考えていきます。	8. 農業・食糧・食育 ①わが国の農業・食糧・食育の現状について話し合います。 ②小・中・高で「農業・食糧・食育」をどう指導するか話し合います。 ③学校給食と「地産地消」「食育教育」について話し合います。
3. 日本近現代 地域に根ざし、歴史研究の成果に学んで、私たち自身の近現代史認識を豊かにします。特に、近代国家の形成、戦争と民衆、戦後史と原発などをテーマに、魅力ある授業作りを検討します。	9. 平和教育 戦争体験をどう受け継ぐか、原発問題の真実、慰安婦、沖縄米軍基地、教科書をめぐる問題など、平和の課題をどう学んでいくか—戦争体験者から直接話を聞きながら討論を深めましょう。
4. 世界 ①東アジアとの交流の歴史をどう学びどのようにつくるのか、②近現代世界の真相をどう捉えるか、③教科書分析、グローバルヒストリーなどを主題に歴史認識をどう深めるか、について討議します。	第Ⅱテーマ 地域・子ども・授業 (1)子どもの生活や発達をふまえ、たしかな認識を育てる授業を工夫する。 (2)いのちと個人の尊厳を大切にする平和教育を追究する。 (3)社会科の変質と教科書の実態を明らかにし、実践的に批判を進める。
5. 憲法と現代の社会 東日本大震災・福島原発事故についていかに学び何を受け継ぐか、子どもの現実や地域から憲法学習をどう創造するのかを検討します。生存権や教科書、沖縄の課題も含めて討論を深めましょう。	10. 幼年・小学校低学年 ①3.11以降の学校・子どもたちの様子、取り組みを各地から報告します。 ②社会・自然・人間認識の育ち合いを、実践報告を元に話し合います。 ③授業に使える手しごと(実技)を体験できます。

11・12. 小学校中学年 授業作り講座では中学年社会科の内容や課題を提起します。地域学習が中心になるので、地域の掘りおこし、地域の歴史、地域の産業など、地域をどうつかみ、教材化してきたかを実践を元に考えます。	19. 高校 ①東日本大震災・原発問題と高校生、②新学習指導要領をどうみるか、③高校生の学びと地域・世界、について議論します。
13. 小学校5年 新指導要領体制は、教科の道德化などの問題をはらみながらスタートしました。子どもから出発し、地域に根ざした実践の立場から「何を、どう、何で」育てるかを報告に則して討議します。	20. 大学 ①大学と学生の現状を見据えつつ、大学の授業と学生の社会認識について実践的に検討します。 ②社会科教員養成の諸課題について考えます。
14. 小学校6年 子ども、地域は今どうなっているのか。新学習指導要領全面实施の中で、学校、社会科の学習はどうなっているのか。各地の状況を交流しながら、たのしい授業をどうつくるのか考えていきます。	21. 障がい児教育 ①社会認識や主権者意識をどう育てるか、②地域でどう生きていくか、③「特別支援教育」をめぐる全国の状況についての情報交換、④「障がい(児)者文学」「障がい(児)者の歴史」と教育、以上の4つの柱で討議します。
15. 地域の中の子どもたち(8月4日のみ) ①地域の子どもたちの現状の把握と共有、②東日本大震災・原発事故・子育て新システムの中、地域の子どもたちの状況の交流、③子どもたちの居場所と権利の動向の検討、などを議論します。	22. 父母市民の歴史学習 これまでの地域において父母市民と共に学んできた歴史学習運動の歩みを、地域の掘りおこし講座などの紹介で深め合い、歴教協支部40年の歩みや原発問題を通して市民としての生き方を討議します。
16. 中学地理 世界と日本の全地域を取り上げる新教科書による授業が始まり、これまでの蓄積をどう生かして実践していくか、また、3.11の震災と原発問題をどう扱っていくか、各地の実践を学びあいましょう。	23. 社会科の学力 子どもの社会認識、歴史認識の現状をとらえつつ、社会科、歴史教育の授業をいかに構成するか、「学力形成」の内容と方法について交流する。あわせて「原発時代」における学力論を考察します。
17. 中学歴史 震災・原発問題という現実はどう向き合っていくかの話し合い、中学生の学びの意味を考えます。新教科書の問題点を分析し、その下での実践の仕方も学びます。また、原始～近世の授業を検討します。	24. 授業方法 子どもたちが自ら考え学ぶ授業をつくるために①教材(文化財の帰属、北方領土)②手法(アニメ、メモリーツリー、質問表)③地域(郷土の偉人、昆布)④原発と、多様な切り口を学び合います。
18. 中学公民 原発、戦争と平和、人権など、現代社会の課題と中学生をどう結ぶかを考えます。主権者を育てる公民学習について、子どもの発言や姿と、授業づくりの手立てを示しながら討論を深めます。	特設 日韓歴史教育交流 日本・韓国両国の近現代史の授業を交流し、両国の子どもたち・生徒たちは、その授業の中でどのような歴史認識を形成したかを明らかにします。また、授業方法を追求します。

現地見学

※現地見学だけの参加はできません。満員になりしだい締め切ります。

- ・参加費には、原則として集合から解散までの交通費、見学費、資料代、食事代が含まれています。
- ・小学生以下については実費を請求いたします。
- ・当日の道路状況や天候などの理由により、行程・時間などを変更する場合があります。

8月3日(金)

定員<最低催行人数>参加費

Aコース 久留島浩さんと語る新しい歴博近世展示 定員30<10>4000円

国立歴史民俗博物館(10:00~13:00の間に集合・受付)~昼食(博物館内レストラン)~久留島浩さんによる第3展示室解説と質疑~見学終了(15:30)~移動~新京成津田沼駅解散(17:00)

Bコース 安田常雄さんと語る新しい歴博現代展示 定員30<10>4000円

国立歴史民俗博物館(10:00~13:00の間に集合・受付)~昼食(博物館内レストラン)~安田常雄さんによる第6展示室解説と質疑~見学終了(15:30)~移動~新京成津田沼駅解散(17:00)

Cコース 宮原武夫さんと歩く江戸時代の新田村 定員40<25>2000円

習志野文化ホール(13:00集合)~小字・元禄の絵図・地蔵の銘文・庚申塔を手がかりに、文化財という「物」の背景に隠れている「人」の生活を掘りおこす方法を考える。~習志野文化ホール(16:30)

Dコース 騎兵連隊と毒ガス学校―「坂の上の雲」を考える 定員25<15>2500円

習志野文化ホール(13:00集合)~習志野学校跡~騎兵連隊司令部跡~騎兵連隊跡~津田沼駅~習志野文化ホール(17:00解散)

Eコース 大逆事件・菅野須賀子「針文字書簡」の謎―手賀沼畔に文人の足跡を巡る 定員25<15>4500円

JR常磐線我孫子駅南口(13:00集合)~(バス移動)~楚人冠碑・我孫子市杉村楚人冠記念館(旧邸跡)~三樹荘(柳宗悦邸)跡・我孫子市白樺文学館(柳宗悦紙芝居上演予定)・志賀直哉旧邸跡~手賀沼公園・我孫子市平和都市宣言碑~(バス)~JR津田沼駅(17:00解散)

8月6日(月)

Fコース 払い下げられた朝鮮人―遺骨の発掘と慰霊の跡を尋ねる 定員45<30>5000円

JR船橋駅北口(8月6日9:00集合)~行田無線塔跡~馬込霊園「関東大震災朝鮮人犠牲者慰霊の碑」~移動中DVD(「払い下げられた朝鮮人」)視聴~虐殺現場などの原~高津観音寺・鐘楼(昼食)住職の話~長福寺「至心供養等」~JR津田沼駅(16時解散)

Gコース 漁船でまわる三番瀬・歩いてまわる漁師町 定員40<25>5500円

JR船橋駅南口(8月6日8:40集合)路線バス~船橋港出航~海から京葉工業地域や湾岸の開発を遠望しながら漁師の大野さんの話 漁協会議室で昼食・大野さんのミニ講演~船橋湊町の史跡を歩く JR船橋駅(16:00解散)(帽子、飲み物、タオル必携)★出航不可の場合は乗船料を返還

Hコース 東京湾岸の古墳群―ヤマト王権とのかかわりに迫る 定員35<20>7000円

JR八幡宿駅前(8月6日8:30集合)~稲荷台古墳公園~市原埋蔵文化財センター~神門古墳~国分寺の見学~金鈴塚~木更津市郷土博物館金のすず(昼食と見学)~弁天塚古墳・内裏塚古墳を含む富津古墳群の見学~JR青堀駅(16:30)~JR木更津駅(17:00)解散

8月5日(日)夜～6日(月)

Iコース 成田空港のすべて—開発・闘争から空の安全まで 定員28<20>16000円

8/5 千葉大学 (17:15 出発)～成田山 (泊) (夕食後空の安全についての講演)

8/6 宿～三里塚記念公園～滑走路の南端で有機農業を行う島村昭治さん宅訪問～成田空港空と大地の歴史館～成田空港税関～成田空港見学デッキ (15:30 解散)

Jコース 佐原の町並みと香取神宮 定員45<25>16000円

8/5 千葉大学 (17:15 出発)～香取市 (泊)

8/6 佐原の町並 (伊能忠敬旧宅・三菱館・正上・中村乾物店・正文堂・東薫酒造等)～観福寺 (懸け仏)～川の駅さわら (昼食)～香取神宮 (宝物館)～京成成田駅 (15:30 解散)

8月5日(日)夜～7日(火)

Kコース 房総半島の先端から東アジア交流史をみる 定員40<15>35,000円

8/5 千葉大学 (17:15 出発)～館山市安房自然村 (泊)

8/6 かにた婦人の村 (「噫従軍慰安婦」碑・本土決戦「128 高地陣地跡」)～昼食～館山海軍航空隊「赤山地下壕跡」(館山市指定史跡)～洲ノ埼海軍航空隊「射撃場跡」～館山海軍航空隊「掩体壕」～館山市安房自然村 (泊)

8/7 青木繁ゆかりの漁村 (「海の幸」記念碑・小谷家住宅・布良崎神社)～200 万年前の「海底地すべり地層」～国史跡「里見氏稲村城跡」～大巖院・ハンゲル「四面石塔」～館山駅 (15:00 解散)

Lコース 東京湾要塞と本土決戦陣地をあるく 定員40<15>35,000円

8/5 千葉大学～館山市安房自然村 (泊)

8/6 城山公園館山城跡 (館山市指定史跡)・館山湾を俯瞰～館山海軍航空隊「赤山地下壕跡」(館山市史跡)～昼食～かにた婦人の村 (「噫従軍慰安婦」碑・本土決戦「128 高地陣地跡」)～洲ノ埼海軍航空隊「射撃場跡」～館山海軍航空隊「掩体壕」～米占領軍本隊初上陸地 (水上機滑走台跡)～館山海軍砲術学校～館山市安房自然村 (泊)

8/7 洲崎第二砲台・弾薬庫跡～水上特攻艇「震洋」基地跡～爆撃機用大型掩体壕～昼食～ロケット特攻機「桜花」下滝田カタバルト基地跡～館山駅 (15:30 解散)

地域に学ぶ集い 8月4日(土)

16時半～18時半 (分科会終了後) 千葉大学

1. 戦跡と文化財を活かすまちづくり
2. 将門と古代房総とのかかわりをさぐる
3. 戦争の記憶と現代展示
4. 太平洋を渡ったあわびダイバーたち
5. 杉村楚人冠と大逆事件、そして 3・11
6. 辛亥革命と千葉の中国人留学生たち
7. 『ああダンプ街道』その後
8. 韓国の教師と高校生がともに学ぶ「在日」問題 (公開授業)
9. 近藤一さん、牛島貞満さんに聞く—中国戦線・沖縄戦の実相 (本部企画)
10. 教科書問題 (本部企画)
11. 震災被災地東北からの報告 (本部企画)
12. 日中歴史教育交流 (本部企画)

福留強 (全国生涯学習まちづくり協会)

川尻秋生 (早稲田大学)

安田常雄 (神奈川大学)

山口正明 (安房文化遺産フォーラム)

白鳥晃司 (歴教協松戸支部)

見城悌治 (千葉大学)

佐々木悠二 (小櫃川の水を守る会)

授業者・朴中鉉 (ソウル良才高校)

申込み方法

①下記申込み書に記入し送付 または②歴教協ホームページから

- ①複数お申込みの場合も、申込み書1枚に1人ずつで記入し、国際ツーリスト宛、郵送またはFAXでお送りください。
- ②歴教協ホームページ利用は、大会参加申込みページを開いて必要事項を入力し、送信してください。携帯電話使用の場合は、受付後の書類送付はFAXか郵送になります。

歴史教育者協議会第64回全国大会・千葉参加申込み書(1人1枚)

ふりがな おなまえ		男・女	年齢	勤務先 勤務先電話 会 員 (県) ・非会員		
住所（書類送付先） 〒 自宅Eメール				自宅電話 自宅FAX 携帯電話 携帯Eメール		
宿 泊	宿泊希望日（○印）			宿泊希望ホテル番号		
	8/3	8/4	8/5	第1希望	第2希望	
参 加 費（○で囲む）		5,500円(会員・教員)		1,500円(学生・一般)		
現地見学 コース 記号	A～E	F～L			参加経験 5回以上・1～4回・初 『歴史地理教育』購読 本部直接 書店 なし	
		第1希望	第2希望	第3希望		
保 育	お な ま え		男・女	歳	学年	〈備考〉その他宿泊(ツイン)などのご希望(※領収書の宛名希望があれば記入)
	希望日		8/3	・	8/4	

※出張依頼状が必要な方は、80円切手を貼った所属長宛の封筒を同封して歴史教育者協議会へ送付してください。申し込みと入金確認後発送します。

申込書にご記入いただいた個人情報は、本大会に関わることに以外には利用することはありません。個人情報の取り扱いにあたっては、安全管理に努めます。